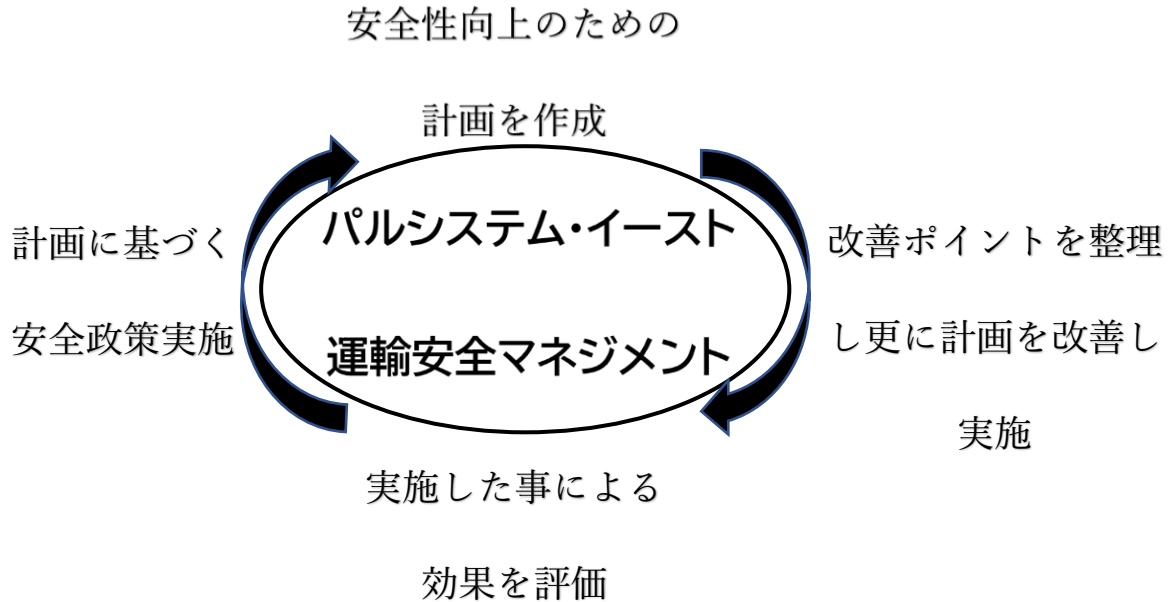


2022年運輸安全マネジメント（計画・実施・評価・改善の流れ）



- ① 新人の事故削減を目指します。（全体事故に占める新人の事故割合 42%⇒25%以下）
 - 新人に対し OJT をしっかりと行い、基本ルールを身に付けさせます。
 - 新人研修で実施している危険予測トレーニングで新人の事故割合を削減します。
 - 独り立ち後のドライブレコーダーチェックを実施します。
- ② 事業所点検を実施し法令遵守体制を維持します。
 - 6ヶ月に1回抜き打ちで事業所点検を実施し常に法令遵守運営が出来ている状態を目指します。
- ③ 指導者の目線合わせに力を入れます。
 - 新人の引き継ぎを行うリーダー、主任を対象とした指導ポイントについての目線合わせを実施し誰が引き継いでも同じレベルで指導できることを目指します。
- ④ 社員に安全運転が意識できる職場風土の構築を目指します。
 - 他営業所で起きた事故を朝礼若しくは終礼で事例共有を実施します。
 - 月ごとに集中した安全運転取り組みを実施し事故、違反を削減します。
 - 営業所で発生した事故報告書及び安全運転かわら版などの掲示を実施します。
- ⑤ ドライブレコーダーを活用し事故防止に努めます。
 - ドライブレコーダーのデータを解析し休憩時間の有無に活用します。
 - ドライブレコーダーの映像を確認し運転動作の善し悪しの指導に活かします。
- ⑥ 安全運転に関する費用は積極的に投資します。
 - ①～⑤に掛かる費用支出及び投資を積極的に行い、事故削減を目指します。